



Lend a Hand

"手を貸そう"

2003-04年度 国際ロータリーテーマ
ジョナサンB・マジヤペRI会長

TANABE ROTARY

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



4つのテスト (FOUR WAYTEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 津村寛司
 幹事 荷稻 實
 会報委員長 新藤整市

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



熊野古道 撮影 森本稔治様

司会者

津村寛司会長

ソング

遠くへ行きたい

ゲスト

田辺市役所総務課
浦辺俊次様

ヴィジター

本日のプログラム 9/25

新会員卓話

長井保夫会員

次回のプログラム 10/2

日置川プロバスクラブ

会長 山田 清様

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総 数	86名	28名	58名	
出席計算者	76名	22名	54名	71.05%
9月4日修正出席率 96.05%				

メイクアップ

- 9/13 地区職業奉仕委員長会議 (田上、多屋平彦)
- 9/16 村上 他15名 (田辺はまゆう)

お祝い

- 会員誕生日 9/20 大川
- 夫人誕生日 9/19 玉井眞澄 (洋司)
- 9/20 鈴木淳子 (和夫)
- 9/24 中松浩子 (村夫)

ニコニコ箱

浦辺君、本日よろしく。……………新井妹の同級生の浦辺さん、卓話よろしくお願ひします。……………横田一寸、はずかしいこと。……………阪井しょうわ会、多数の御出席ありがとうございました。……………田上しょうわ会、皆様参加ありがとうございました。無事幹事終了しました。……………玉井洋しょうわ会で自転車を勝ちとりました。……………成田名誉と自転車、手に入れました。……………黒田

お知らせ

会長報告

- ・9月13日第2640地区クラブ職業奉仕委員長会議に田上委員長、多屋平彦会員が、出席して頂きました。
- ・先日のしょうわ会では、田上会長、玉井洋幹事お世

話ありがとうございました。

幹事報告

- ・近隣の週報届いています。

プログラム

『地震と津波』



田辺市役所総務課防災担当

浦辺 俊次 様

南海地震は過去、100年から150年周期で起こっています。また南海地震には大きな特徴があるといわれております。南海地震が発生する40年位前から関西エリアでマグニチュード7ぐらいの地震が発生し始めるそうです。そして南海地震後10年位の間大きな地震が起こるといわれております。1995年に兵庫県南部地震が起こっておりますが、これが南海地震の前触れの地震だといわれております。1995年に40年足していただいたら2035年になります。専門家の先生は、2030年ごろから気をつけなさいといっております。これはあくまで確率で明日起こるかもしれないわけですが、一番発生する確率の高いのが2035年位ではないかといわれております。こういったことから次の南海地震は30年以内に40%ぐらいの確率で起こるといわれています。

地震発生時の心得 10カ条

わが身と家族の安全

もし地震が発生したら自分の命を守ることが一番大切です。テーブルの下にもぐるといのが基本です。



そのときテーブルの足をしっかり持つことです。就寝中であれば布団をかぶって頭を守る。家の中で一番安全な場所は柱や壁が多い洗面所とか風呂、トイレだといわれています。

すばやく火の始末

次に地震のあとは火災がつきものです。火災の発生を防げれば被害はかなり小さく出来ます。地震かなと思ったらすぐに火を消す。揺れが大きくてコンロなどに近づけないときは、無理せず揺れがおさまってから消す。神戸の地震のときは電気による火災が多かったようです。電気ストーブとかアイロンのような電熱器を使った器具が危険です。地震が起こり停電することで電気製品のスイッチが切れた状態になります。そして電気が復旧したときに火災が発生することが多いようです。避難前にガスの元コックを閉め電源ブレーカーを切るのが一番安全です。隣、近所ともガスや電気の安全確認をして下さい。



戸をあけて出口を確保

揺れが収まったらドアを開けて出口を確保します。特に中高層住宅は避難出来なくなります。



火が出たらすぐ初期消火

火が出たら初期消火に努めます。小さい火のうちならバケツいっぱいの水で消すことが出来ます。もし天井まで燃え移ったら避難して下さい。



あわてて外に飛び出さない

避難するときはあわてて外に飛び出さないことです。落下物などで怪我をすることがあるので周囲の状況を確認してから行動して下さい。



狭い路地やブロック塀には近づかない

狭い路地やブロック塀、自動販売機の近くは、落下物や倒壊の危険があるので近づかないようにしましょう。



山崩れ、崖崩れ・津波に注意

山間部や海岸地帯で地震を感じたら山崩れや津波に注意して下さい。



避難は徒歩で、荷物は最小限に

大災害が発生した場合、普段は車が通行出来る道路が通れなくなります。また、消火・救急救助活動等の障害となる場合もあるので自動車は絶対に使わず、必ず徒歩で避難しましょう。持ち物は身軽に行動できるよう最小限にとどめましょう。



協力し合って応急救護

多数の負傷者が出れば医療機関などの対応が限界になるのでみんなで助け合うことが大切です。



正しい情報を聞く

防災放送やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手し、適切な行動をとりましょう。



次の南海地震は、50cmの横揺れ、時間にして2分は揺れると言われています。もし、立ってられないほどの揺れを感じたら津波警報などの情報を待つのではなく直ちに安全な高い所へ避難して下さい。そのためにも普段から避難場所を家族で話し合っておく事が大切です。津波のスピードは速く、チリ地震の時には23時間で17,000km離れた日本まで津波が来ました。これはジェット機ぐらいのスピードです。また津波は繰り返し来ます。南海地震では5~6回来るといわれています。警報が解除されるまで5時間位は注意が必要です。また震源付近の地形によっては引き潮が起ころなくても津波が来る場合もあります。

家庭のできる防災対策として次のことがあげられます。家具やタンスの転倒防止対策をしておく。大きな地震が発生すると家具が倒れたり、タンスな



の上においたものが落ちてきて怪我をするだけでなく出入り口をふさがれることがあります。家具の配置にも気をつけ、倒れても下敷きにならないところで寝るようにする。窓にはカーテンをつけガラスが飛び散らないようにする。足の怪我をしないようにスリッパを常備しておく。懐中電灯を一室にひとつ、できれば一人にひとつ常備しておく。貴重品や非常持ち出し品は取り出しやすいところに置く。三日分の水と食料(レトルトやインスタントなど調理しなくてもよいもの)を用意しておき定期的に入れ替える。

生活用水が不足するので風呂に水をためておく。避難場所や役割分担について自分の居住している地域の特色を考え、家族で話し合っておく。昔の地震の話の子供や孫に伝えておくことも大切です。

防災の基本は自分の命は自分で守ることです。警察や自衛隊、消防等、行政の対応には限界があります。家族や隣近所の助け合いが一番大事になってきます。神戸の地震の時、倒れた家屋から救出された方の九割が地域の皆さんの力によるものでした。地震や津波のような災害は防ぐことはできませんが皆さんの協力のできるだけ被害を小さくできるようお願いいたします。